

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域住民への介護の理解促進事業			会計	款	項	目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	菊池 義博				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	地域住民、介護職経験者等	意図	介護の知識や技術等について情報を得て、介護の担い手のすそ野拡大による介護人材の増加と技術向上を図る。
事業内容	在宅介護の知識や技術等を習得する講座の実施。			
事業開始から現在までの状況変化	千葉県介護人材確保事業補助金を活用し、平成28年度から実施。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	ちよつともっと介護塾参加者数		51	43	
②	ちよつともっと介護塾開催回数		2	2	回	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

講座の内容を職種や難易度で分け、同一時間帯に複数の講座を用意し、参加者に興味のある講座を選択してもらう方式とした。介護に関心のある地域住民の参加が得られた。また、同一事業所の従業員が交代で受講するなど、介護従事者の研修として利用された。学生と地域住民、介護事業所の従業者との交流が見られた。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,528,000	1,985,495
事業費(b)(円)		155,000	643,095
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)		1,373,000	1,342,400
人役・職員(人)		0.20	0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	ハローワーク等と連携し、周知を行う。	③取組の課題	広報以外の周知媒体での周知期間が短かったため、受講者の応募につながらなかった。
②今年度(H29)に実施した取組	市広報、ホームページに講座案内を掲載するとともに、市内公共施設や介護事業所、近隣ハローワークにチラシを設置し、周知を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	周知期間を十分に取り、応募につながるようにする。